



社会福祉法人さざんか会法人広報誌『おーぷん第84号 2020 春』

発行：さざんか会法人本部/船橋市行田 2-8-1/☎047-404-1135

編集：おーぷん編集委員会/けいよう/船橋市二和西 5-10-1/☎047-411-8177

年度末を迎え、大変な事態になってしまいました。中国は武漢市の住人が発症した「新型コロナウイルス」による感染症がまたたく間に広がり街が閉鎖され市民の交流も断絶、孤立状態。ほぼ全ての活動は停止。感染の拡大を何としても防ぐ策が講じられました。それでも感染は治まらず、日々感染者は増加します。そして、このウィルスにより肺炎を起し、大勢の人たちが

亡くなってしまいました。この感染症は中国の他の街にも拡散、各地から新たな患者が現れました。この病、去年12月には発病した人が居たのですが、公表されたのが遅くなり、この間の不手際により一層感染防止への対策が遅れ、その分拡大してしまったとの情報もあります。様々な分野で中国と密接な交流のあるこの国も戦々恐々、対応策が迫

られました。その後の経過はご承知のとおりです。今朝(3月7日)のニュースでは、中国の感染者は八〇六五一人で死者は三〇七〇人、日本は千一五七人で死者は一三人(クルーズ船含む)、世界九〇カ国以上の感染が伝えられています。各国それぞれに感染防止のための策が講じられていますが、中々感染終息の気配は窺えませ

『落ち着こう』

社会福祉法人さざんか会 理事長 宮代 隆治

おーぷん84号目次

P1 「落ち着こう」
さざんか会 理事長 宮代隆治

P3 寄稿『卒園にあたって』
・とらのこキッズ保護者 渡辺 裕美
・さざんかキッズ保護者 佐野 雅美
(敬称略)

P5 各事業所冬だより
・のまる
・けいよう
・カメラハウス
・ゆたか福祉苑
・とらのこキッズ
・さざんかキッズ
・魔法のランプ
・DD,のまのまホームズ

P9 北総の里だより
・北総育成園
・笹川なすな工房

P12 後援会だより

ん。それどころか、感染は拡大の一途のようです。

この国では、3月からほぼ全国の小中高の学校が休校となりました。集団感染のリスクを避けなければなりません。が、この施策があまりにも急であり、備える体制が不備のままに発車しましたので、全国に相当の混乱が起きてしまいました。新型です。未だこの病に対応できるワクチンはありません。手探りながら、やれこの薬が効きそう、こっちも効いたぞうだ、とのニュースも世界から届いてきました。が、有効なワクチンの開発には未だ時間が掛かりそうです。



私たちが過去に経験した、同様のウィルス騒ぎに比べても致死率は低い、とは言われても、一体いつになったら感染は下火となり落ち着くの…。終息はいつになるの、皆不安な気持ちを抱いています。

当然、社会はこの状況を映して通常とは異なる様相を呈します。“マスク”の着用も一例です。感染者のウィルス飛沫を防ぐに効果はあっても、感染そのものを封じる効果は如何程、と評価されても何もしないよりは、と思ってしまうます。通勤車中でマスクもせずに咳やくしゃみでも出そうものなら、皆に睨まれてしまいそう。マスクは生活の必需品となりました。となると、それを確保せんと購入に走りまわります。今のうちに買っておかないと無くなってしまおう。とにかく、買えるだけ買っておこう、と。かくして、お店からマスクが消えてしまいました。ネットでは一箱5万円、法外な値段のマスクが売買される始末です。マスクや除菌用アルコールや石鹸等が品薄になるのは理解できますが、何でトイレトーパーパーやティッシュペーパーが無くなるの？これらは中国からの輸入に頼っているものであり、中国があの状況では今に無くなってしまおう、との情報がSNS等から流れた様子。これは大変、さあ今のうちに、と。これが全くのうそ、でたらめ。こそとばかりに

皆が買い占めれば、無くなるのは当たり前。問題は流通にあり、在庫自体は十分です、と火消しのPRに努めます。デマに惑わされるな、と言っても目の前から消えてしまえば、焦るのも無理ありません。「後悔先に立たず」です。「正直者は馬鹿を見る」にもなりかねません。



世情が不安定となり、先行き不透明で困難や不測の事態が予想されるとき、私たちは流言飛語に惑わされ、とんでもない行動に走ってしまうがちです。

今から97年前、横浜や東京に大変な被害をもたらした関東大震災という地震がありました。最大震度8程度の激震を伴い、火災を含めた死者、行方不明者は一〇五〇〇〇人と言われています。家屋が潰れ津波が押し寄せ、猛火の中を逃げ惑う被災者の悲嘆、恐怖心、失望感はいかばかりか。この時、流言飛語をきっかけに大惨事が起きてしまいました。「朝鮮人が井戸に毒をまいた」、「武器をもって大挙襲って

来るぞ」等々。市民は自警団を組織して、刀剣や竹槍等で武装します。拳銃、捕らえた朝鮮人を惨殺してしまいました。その数、数百から数千人と言われています。この船橋でも惨劇は起きていたようです。後日、これは全くの虚報であり、何らの根拠もなかったことが…。普通のおじさん、お兄さんがこの時ばかりは鬼の形相で暴徒と化します。

教訓ではないでしょうか。世情の不安定、人心乱れるときにもすればとんでもない行動に駆られてしまおう。付和雷同を諫め、こんな時こそ冷静沈着に。

“新型コロナウイルス”騒ぎも、まだまだ続くかもしれませぬ。過剰に構えることなく、正確な情報入手と判断、ほんの少しでも相手のことを思いやる“お互い様”の心構えを武器に対応していかなければ、と思っ



【特集】 この春、とらの子キッズおよび
皆さんかキッズの卒園を迎えられたお母様に
ご寄稿いただきました。

「笑顔の多い日々を」



息子の翔大は、毎日元気がいっぱい遊ぶ活発な子です。七歳離れた姉がいます。翔大は、私の予想もしない動きをし驚かされることばかりでした。

一歳半頃には、踏切を見て「カンカン」と言ったり、名前を呼ぶと手を挙げて「ハイ！」と返事をしていました。しかし、それも言わなくなり、少しずつこだわりが出てきました。新しい服は着てくれず、靴はサイズが変わっても同じデザインのものでないと履いてくれませんでした。

翔大が三歳になる頃に幼稚園のプシに通い始めました。幼稚園には翔大の興味のある物ばかりで、沢山の玩具や遊具で遊びました。そこで、発達障害に気づかされました。

園庭で遊んで教室に戻る時間になっても戻れず、やっと教室に戻れても室内をウロウロして椅子に座って待つことができませんでした。先生がピアノを弾いていると翔大もピアノの音を出して演奏を中断させたり、絵本を読んでもらっている時には話の途中でページをめくってしまったり、興味がない時には教室から出て行き、在園児の教室に入ったり…と落ち着きのない状態でした。

こんな状態が続き、入園の面接で幼稚園から入園を断られ、他の幼稚園にも相談しましたが全て断られました。

幼稚園に入園できないとは思ってもいなかったのですが、発達障害の知識が全く無かった私は「私の育て方が間違っていたのか？」と、ショックで涙が止まりませんでした。

それから、親子教室に通い始めました。そこでも落ち着きはなく動き回る翔大に先生方は根気強く声をかけ対応して頂きました。息子の子育てにいっぱいいっぱいになっていった私の悩みを聞き、アドバイスをしてもらえた事、同じような悩みを持つて子育てを頑張っているママ達に出会えた事により、子育ての考え方が広がり気持ちが少し楽になりました。

しかし、週二日の教室に路線バスに乗って通うのは簡単ではありませんでした。急にパニックになりバスに乗れなかったり、バス停から教室まで歩くのを嫌がり歩道に座り込んだり…。到着する頃には疲れきっていました。

また、外で遊ぶ時は、帽子をかぶるのを嫌がり、玩具や遊具で遊ぶ時は、順番を待てず苛ましたり、椅子に座って待つ事もできませんでした。通っているうちに、帽子を被ってくれる回数も増え、バス停と教室の移動時間も少しずつ速くなりました。一年間通い、とらのこキッズへ入園を希望し、面接を受けました。入園希望者が多いと聞いていたのと、一年前に入園を断られた事もあり、私は不安でいっぱいでした。その後、入園通知書が送られてくると不安から解放され、ホッとしました。

とらのこキッズに入園すると、翔大は毎朝笑顔で黄色い送迎バスに乗って通ってくれました。翔大にとって楽しい場所に通わせられる事がとても嬉しかったです。園では、先生方の愛情ある対応のお陰で、できる事が増えてきました。衣服の着脱やトイレでの排せつ、少しずつですが単語が出てくるようにもなりました。

翔大がいてくれたから、同じ悩みを持つママや相談にのってもらえる先輩ママにも出会える事ができました。障害のある息子を育てるのは大変な事が多いですが、今では沢山の方にサポートしてもらっているお陰で笑顔も増え、毎日を送る事ができています。

四月からは特別支援学校に入学ですが、親子教室の一年間と、とらのこキッズでの二年間は私たちが親子にとって、色々な事を学び、成長する事ができました。卒園後も今までお世話になった先生方や皆さんに、遠回りでもゆっくりでも一歩一歩成長した息子を見て頂きたいと思っています。

これからも子ども達と一緒に笑顔の多い日々を過ごしていきたいと思えます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

とらのこキッズ 保護者 渡辺 裕美



「可能性は無限大」

私の息子、稜幸

(たかゆき) は予定より一ヶ月早く、緊急帝王切開で生まれました。

2240gの



低出生体重児でしたが、保育器に入ることなく、一ヶ月後には体重が2倍以上に増えるほど、ミルクと母乳をよく吸収して普通に成長していると考えていました。

医師から初めて成長に関する指摘をされたのは、三ヶ月検診の時に追視をしないことでした。それから保健センター等に相談しても「成長には個人差があるから心配しなくて大丈夫」と言われるばかり。様子見として医療センターの眼科や小児科を受診し、ようやく検査に耐えうる月齢に行うCTの検査予約をした頃に、てんかん発作を発症しました。すぐに検査が行われ、脳症による症候性点頭てんかんと診断された数日後には、転院した千葉県こども病院で

入院治療を受けていました。その頃は医師から勧められる治療法が最適だと信じ、インターネットで病状に関する情報を調べては何が正解かも分からずに、暗中模索の日々を過ごしていました。

初めての子育ての不安に加えて、反応の薄い子どもの育て方に困り、薬にもすぎる気持ちで子育て支援センターへ相談に通ううち、発達に問題のある子どもが通う療育施設の存在を知り、西マザーズホームに入園。その後、身体障害者かつ発作持ちの子ということで悪戦苦闘しながらも保育園に入園することが出来たこともあり、ぼんやりマザーズホームでの卒園を考え始めた頃、さざんかキッズが開園しました。

数少ない肢体不自由児のクラスが設置されている施設が、自宅から無理なく通える場所に出来たとあって興味があつたものの、母親がフルタイムで働いていたため、当初は申し込みすら躊躇して入園を諦めていました。親の都合で子どもの可能性に制限をかけている

ことを申し訳なく考えていた頃、入園していた友達から施設の情報を教えてもらい、駄目でもともとだと希望を出して年中から保育園と併用する形でさざんかキッズに入園しました。

薬の副作用により鼻にチューブを挿入して栄養摂取するまで体調が悪化した時期もありましたが、入園の申し込みをする頃には運よくひどい発作が治まり、体の負担が軽減したのでしよう。習得した寝返りで動き回り、喃語を発して多少は感情を表現するまで成長したため、保育園では味わえない運動や感覚刺激を全身で感じ、さざんかキッズでの療育を楽しめていたと思います。

なお、家族や職場の協力の他に、さざんかキッズの先生方はあまり多く通うことが出来ない親子をいつも優しく、温かく迎えてくださったご支援の影響も非常に大きかったと考えます。先生方のおかげで親子共に楽しい二年間を無事に乗り切ることが出来ました。本当にありがとうございます。

さて、親としては、子どものこれからの成長が楽しみであるとともに、正直、この先の見えないことに対する不安は拭えません。しかしながら、子どもを通して知り合ったご家族の勉強熱心なところ、いつでも明るく前向きな姿勢を見習い、子どもの可能性を信じてこれからも親子で頑張っていきたいと思えます。

そして、皆様が毎日笑顔で過ごすことが出来、沢山の良い出会いと幸せが舞い込みますようお願いいたします。

さざんかキッズ
にじ組(肢体不自由児クラス)

保護者 佐野 雅美



のまるる



のまるでは、毎年皆さんが楽しみにされている『クリスマス会』の様子をお伝えしたいと思います。当日の昼食メニューは、クリスマス特別メニューということで、ハンバーグ・ポテト・チキン。更に、シャンメリーもついていました。利用者もスタッフも大満足!!



午後からレストランに集まり、クリスマス会スタート!

毎年恒例のゲームでは、箱から出た紐を引っ張り、景品のお菓子をもらいました。中には大当たりなお菓子も!カラオケでは皆さんでクリスマスソングを歌い、最後はスタッフによるバンド演奏トリズムに合わせて体を揺らし、皆で一緒に歌いながら大盛り上がり。バンド演奏ではアンコールをもらい、とても楽しいクリスマス会になりました。



けいよう

12月10日に千葉県文化会館で開催された『さわやか芸能発表会』に参加しました!広いステージでたくさんのお客様がいる中、「USA」と「フラインゴ」を堂々と披露する事が出来ました。他事業所の発表も楽しんで鑑賞されていました。



現在、いくつかのグループに分けて外出行事『お茶会』を行っています。パフェやポテトなど食べたい物を選んで美味しそうな表情をされています!



今年度もありがとうございます!来年度も楽しさが伝わるような内容を届けていきたいと思えます♪



カメラリアハウス



★ デイズニールランド外出！

毎年恒例のデイズニールランドへ外出してきました♪
天候にも恵まれ、乗りの物に乗ったり、ショーを楽しみました！美味しいお昼ご飯を食べ、お土産を買った楽しい一日でした。

★ 歯科指導

先日1月14日に千葉県歯科衛生士会さんの歯科指導を受けました。8020運動ということで、年齢の若い利用者さんを中心に、参加していただきました。

歯科医師の先生のお話を聞いたり、歯科衛生士さんの歯ブラシ指導を受けフッ素化合物の体験もしました。皆さん、真剣に話を聞きわからないことは、質問してみました。一時間の講習会のなかで色々な体験が出来た一日になりました。
※8020運動は80歳までご自分の歯を20本残そうという運動です。



ゆたか福祉苑

本年度最後のおいぶんとなりました。最後を飾るのは、2月に行われた節分行事の風景です♪
ホールでは、鬼にちなんで『もくもくたろさん♪ももたろさん♪』の歌や『桃太郎の紙芝居劇』が行われました。歌や劇に参加するご利用者様、それを見ているご利用者様、共に笑顔になって楽しまれました♪

ホールのイベントが終わると、『鬼』に扮したスタッフが各班の元へとやって来ました！『鬼は外っ！』の掛け声と共に豆を投げると、鬼はすってんころりん！と倒されていました。これでゆたかにも新しい福が入ってくることでしよう♪

この84号が皆様の手に届く頃にはもうすぐ桜の季節を迎えることとなると思います。新しい体制となると思いますが、ご利用者様のより多くの笑顔が見れる様、頑張っていきたいと思えます！



とらぎのキッズ

冬の思い出



冬の大イベントといえばクリスマス!!今年度行なったクリスマス会の様子をご紹介します。

① イオンさん

船橋イオンさんより、今年は各クラスのお子さんが楽しめる玩具を3つ頂きました!!新しい玩具に大喜びでした☆

② 太陽さん

お隣の身体障害者福祉作業所太陽さんにて行われたクリスマス会にお招き頂いたので、みんなで参加しました。船橋ライオンズクラブ様のサンタさんから歌のプレゼントやお菓子のブーツを貰い、素敵な会となりました♡

③ とらぎのキッズクリスマス会

いつもと異なる園の雰囲気や人の多さに緊張しながらも、歌や楽器演奏の発表を頑張りました!また、保護者の方とダンスをしたり、職員によるダンスの発表を見たりと、皆で楽しく過ごしました♪

一年間、行事や活動を通して、たくさん楽しい思い出ができました。保護者の皆様も、ご協力ありがとうございました。



さざんかキッズ

12月、知的クラスは2週にわたりのクリスマス会を行いました。ちょっと緊張しながらも出来るようになったことを保護者の皆さんに披露しました。24日イブの日にはじ組のクリスマス会。年長さんのツリー点灯式もありました。サンタクロースが登場するとみんな大興奮!プレゼントをもらって素敵な時間を過ごしました。



年が明けると獅子舞、まめまき、ひなまつりと季節の行事が続きました。獅子や鬼にびっくりする子ども正体がわかると安堵の表情に◎今年度も楽しいことがいっぱいあったさざんかキッズでした!

魔法のランプ

こんにちは。いつも私の拙い文章をご拝読頂きまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、今回は魔法のランプの宿泊のことについてお話をさせて頂きます。当事業所の宿泊は、制度にはない形で私的事業として、一泊一万円という料金をご利用者皆様から頂いて運営をしています。しかし、船橋市には一時介護料助成制度というものが、障害者総合支援法ができる前から存在しており、今でもそれが継続されております。

私たちは、宿泊するに際して、例えば事業所や学校若しくは自宅から当事業所までお越しになるのにヘルパーと一緒に「移動支援事業」を利用してお越し頂いていたのですが、昨年末に船橋市から移動支援事業を利用して「一時介護事業所」である魔法のランプに送ることは、認められないと

連絡がありました。我々もそれでは皆様をランプにお連れすることができなくなると困るので、船橋市に検討して頂けないかお願いしましたら、先日船橋市より今まで同様に利用して構わないとお話を頂きました。胸を撫でおろしました。

現在、宿泊については、職員と一部の登録ヘルパーのみでの対応とさせて頂いております。可能な限りお受けできるようにしては参りますが、充分にお答えできないかと思えます。ご理解いただきますようお願い申し上げます。長期(3泊以上)に亘る宿泊になった際には、障害福祉サービスの短期入所もご考慮頂けると幸いです。因みに短期入所は、国の事業となりますので、費用は基本的には一割負担ですが、殆どの方が費用を免除されます。(食事等は実費を頂く形となります。)

宿泊の様子は人それぞれです。食事は、調理器具を設置していませんので、基本的に出前を取らせ

て頂いています。一番はパソコンからも注文ができるので、ガストの出前をよく頼みます。隣に中華屋さんもあるので、あまり食べたことがありません。時々、近くにできた唐揚げ専門店の「からやま」というところまで歩いていく事もあります。揚げ物が好きな方も多いので…。朝食は、大半が前日にみらいコープで、おにぎりやパンなどを購入しておいて食べていきますが時々、ランプ向かいのマクドナルドで、朝マックをすることもあります。朝は人がいないので、静かな中で食事ができます。皆さんお勧めですよ!!

お風呂は、足も伸ばせるのですが、あまり伸ばしている所を見たことがなく、皆様足を畳んで入っている人の方が多いように感じます。それでも長湯の方もいれば、カラスの行水のようにあっという間に出してしまう人もいらっしゃいます。

就寝時は、人が複数いなければ、基本的に部屋で一人で眠って

頂きます。これも人それぞれで、興奮して全く眠れない方もいれば、電気を消してももの5分位で寝息を立てて眠っている方もいらっしゃいます。

今年に入り、時間についてのお願いをさせて頂きましたが賛否両論のお声を頂きます。しかし、皆様からのご協力もあり、今まで以上にサービスをお受けすることができるようになってきました。厚く御礼を申し上げます。

今後何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(山田)



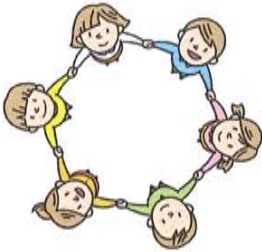
グループホーム

今年の冬は暖冬だったため、身を屈めるような寒さが少なかったような気がします。新型コロナウイルスの影響で気分が沈みがちになりますが、春になって街が花々で彩られてくると気持ちも明るくなりそうです。

* * *
グループホームでは、年に数回、世話人のスキルアップのため研修を行っています。今回は、2月14日に行われました研修の報告をさせていただきます。今回は日常業務において楽しかったこと・嬉しかったことや、モチベーションを保つ秘訣などをグループワークで出し合い、発表するという研修でした。

様々な意見が交わされましたが、通所先とは違った利用者さんの姿が見られた、家事が出来る様になったなど世話人ならではの意見が出ていました。ベテラン職員の仕事に対する熱い意見も聞くことも出来、今年度から世話人になった職員にとっては、先輩職員のお話を聞ける貴重な機会となりました。

そして話し合いの中で『リフレミング』を意識することを一つのテーマとして掲げられていました。『リフレミング』とは「リフレム」をかえてみる事だそうです。例えば「このまま」をリフレミングして言うと「明るい」「活発な」「元気がいい」等に言い換えることが出来ます。つい直接的な言葉を言いがちですが、リフレミングをすることで相手側の捉え方が変わってくると思うので、普段から意識して支援に取り組んでいけたらと思います。



北総育成園

研修報告

千葉県知的障害者福祉協会主催『自立支援セミナー』

支援課長 高木恭一

今年も協会主催の自立支援セミナーに6名で参加しました。里見会長からの障害者福祉の現状についてのお話から始まりました。①入所施設はどこも定員を増やしていき、短期入所の長期化利用者が増えている。②強度行動障害の人達・重症心身の人達の支援が課題。③一番大きな課題として人材確保があり、ある施設はここ5年全く新卒が入ってこない。との事だった。どれも北総の課題とかなり共通し、障害者福祉全体の課題なのだと気づかされた。特に人材確保は喫緊の課題である。

シンポジウムは昨年秋の台風災害について。まず、でいさくさへの濱本施設長から千葉県知的障害者福祉協会の調査報告があった。県内の多くの施設が被害を受け、北総は被害が大きい部類に入るものの、11日以上も停電した施設が3カ所もあった。そして、協会の被災状況収集及び情報発信が大変迅速であり、北総にも近隣施設から支援物資が届きありがたかった。東日本大震災を経験して各施設も協会も災害対応が進歩したのと思う。

次に被災施設からの報告があり、最初は館山市にある「中里の家」。南房総地域は風による被害が甚大であり、テレビでもたびたび取り上げられた。北総との大きな違いは、建物被害が大きかったことと近隣地域の被害が大きかったこと。その為、当日休んだ職員が9名で、自宅の被害がひどかった職員4人は一週間休んだ。また、学校や保育園が休

みで仕事に來られない職員もいた。この点からも職員を多く確保する事の大切さを感じた。そして、一定数の扶養家族のいない職員、すぐに來られる地元職員、同時に災害を受けない離れた地域の職員(茨城県等)などの職員の多様性も大切な要素だと思ふ。

二つ目の被災施設は千葉市緑区の「ガーデンセブン」。テレビでも取り上げられていたので、何度も映像で見たが、施設の裏の土手が崩れて建物内にも土砂が入り込んでいた。現在でも復旧に向けての途上である。被災の翌日に中野学園の方が大勢ボランティアに來てくれ、8割方片付いたとの事だが、その後の道のりが長く、土砂の撤去と斜面の応急復旧を2月末に終え、その後には本復旧に入るとの事だった。建物については、国の補助金をもらうため現在書類を整えているところで、利用者がまた生活できるようにするのは何年先なのだろうか?それまでの間いろいろな施設に分かれて生活している利用者も辛し、職員も慣れない施設で臨時に働いた

り、巡回訪問や事務仕事で日々過ごしているのは辛しと思ふ。

最後は、台風で甚大な被害を受けた埼玉県川越市「けやきの郷」の阿部叔子理事長の講演であった。千葉県内が強風による大きな被害を受けた台風15号ではなく、長野県や関東から東北地方までの広い範囲に大雨による浸水被害をもたらした台風19号である。ドローンから撮られた映像は、荒川の支流が氾濫し、辺り一面が湖のようになっていた。けやきの郷の建物は湖の中に点在しており、場所柄から私は「忍城」への石田三成の水攻めの時もこんな風景だったのかなと想像をかき立てられた。そして、このけやきの郷は20年前にも浸水被害を受け、更には35年前に開所する際には地元の人からこの辺の地域は以前に浸水被害を受けたと聞き、1.5mの盛り土をして建物を建てた。それでも建物が1mも浸水してしまった。そもそもこの土地はハザードマップで真っ赤な浸水想定区域になっていた。こんな土地に障害者を追いやった社会に対する怒りが言葉の端々に溢れていた。阿部さんはTBSラジオの

ディレクターとして働いてきた方で、自閉症の子が生まれてからもずっと働き続け、そして我が子の為に自閉症の成人施設の設定の為に仲間と奔走してきた。その多くのご苦労はここでは書ききれないが、親御さんの必死な思いが心に響いた。

今回、建物は骨組み以外全て直さなければいけない大きな被害を受けたが、利用者は事前に全員が避難して無事だった。日中の内に市民センターに避難し、施設では4名の職員が泊まって施設の様子を撮影していた。その後の避難した利用者に対する周りの対応には唖然とさせられた。まず、一夜を明かした市民センターでは翌日にはサークル活動を理由に移動して欲しいと言われ、小学校の体育館に移動。しかし、その体育館でも授業が始まるからと出され、次に決まった場所が旧公民館。その1階を使っていいということまで1週間使っていたが、市民から「なぜ市民の為に公民館を一つの施設で占領しているんだ」と苦情が出て、また移動となった。次の場所が総合福祉センターオアシスというところ。ここではよう

やく長くいられるようになったが、問題はここが福祉避難所に指定されていないこと。法律の問題があり、避難所という言葉は使用しない様にと言われている。そのため埼玉県内の避難者数はゼロということになっているのだという。本当にこの理不尽な社会をなんとかできないのだろうかと考えさせられた。阿部さんはただ怒るだけでなく、いざと言う時、集団避難所になる場所は絶対に必要であり、廃校になった小学校の利用をとの提案をしているが名案だと思ふ。私の住む大栄地区でも2年後に小学校が統合されるので5つの廃校が出来る。なんとか有効な使い道をして欲しいと切に願う。インタビュアーの牧島博子さんはさすがの構成力だった。TBSの大先輩である阿部さんの引き立て役に徹していた。先輩をより輝かせることが出来る後輩というの素晴らしいなと感心させられた。この自立支援セミナーは毎回、福祉以外の分野の本物のプロを呼んでくれるので、本当に有意義な研修だと感じる。今後の北総の仕事に大いに生かして参りたいと思ひます。

笹川なずな工房

令和2年

新年会

支援課長 興格 隆

令和2年1月18日(土) 笹川なずな工房の新年会が華やかに行われました。利用者、ご家族、職員併せて56名の宴会。笹川なずな工房の新年最初の行事であり、ご家族の方とゆっくり話す機会である大切な行事です。日頃の日中活動では作業を中心として、目標に向かって働く事を展開していますから利用者も職員も真剣勝負です。しかし、この日は利用者さんも食べて飲んで歌ったりとても楽しみにしてくれています。食べきれない程の御馳走と、この日の為に練習

を重ねてきたカラオケを披露してくれる利用者さんも沢山います。中には飛び入りで職員とデュエットを歌う利用者さんもいて会場は大いに盛り上がっていました。



そして、この時期日本中で「成人式」が各地で開かれ、新成人も晴れて大人の仲間入りを果たす大切な行事があります。今年は

1月13日(月)が成人の日でした。特別支援学校を卒業されて笹川なずな工房を利用する方は、18歳で利用を開始し工房での作業にも慣れてきたところに成人式を迎えます。女性利用者は振袖を着てそれはそれは華やかな写真を見せてくれたり、男性利用者はピシッとスーツで決めた写真を見せてくれたりと、それぞれ成人式を報告してくれます。新成人を迎える利用者さんを含んでお祝いするため、「成人の祝い」と称して毎年行事を行っており、近年はこの新年会の場で披露する機会を設けています。今年はGさんが成人を迎えました。施設長のお祝いの言葉から始まり、日頃作業を共にする職員からもお祝いの言葉をかけてもらいました。Gさんの兄も工房を利用しており兄弟で通所しています。雨の日も、風の日も二人で頑張って電車に乗って通っておりです。母もそんな二人の頑張りにも勇気をもらっているようです。祝いの席の中で、利用者代表の挨拶をサプライズでお兄さんにお願いました。「Dちゃんへ成人おめでとうございます。ようやくDちゃんも大人の仲間

入りですね。今まで泣いたり笑ったり色々あったけどすべてが大切な思い出です。これからも一緒にお風呂へ入ったり、ご飯を食べたり僕の大切な弟でいて下さい。そして、なずな工房での仕事も今まで以上に一緒に頑張っていきましょう。利用者代表G、H。弟の為に肌脱いでくれ、堂々と兄ならではのお祝いの言葉を語り掛けるようにじっくり話してくれました。サプライスメッセージに母も会場も涙の感動を呼びました。最後に母から一言挨拶を頂きましたが、これまで育ててきたご苦労だったり、嬉しかった事などその場面を回想してはその光景が浮かぶように話されていました。今日の日を迎えるまでにどれほどのご苦労があったか計り知れません。これからは我々職員も一緒にGさんやなずな工房の利用者さんの成長を見守ると共に職員も一緒に成長していきたいと思えます。「その人に歴史あり!!!」一人ひとりをこれからも大切に支援していきたいと心に誓ったお祝いでした。おめでとうございました。

後援会だより

期待を込めて

のまる管理者：泉一成

令和元年11月27日後援会主催の講演会を無事に終え、さて令和2年はどうしようかと考えています。その前に令和2年後援会の総会は、

総会は6月2日(火) 薬円台公民館です

第一部の総会に続き、第二部では、さぞんか会各事業所管理者との意見交換の時間も設けています。ぜひご参加ください。



令和2年1月14日(火)後援会の評議員会がけいよう会議室で行われ、理事会・評議員会でも要望させていただいた「日中サービース支援型のグループホーム建設」への期待を話しました。

船橋市内では、令和2年2月に夏見4丁目に定員14人で事業を開始している事業所もあります。さぞんか会に重度化・高齢化に対応する日中サービース支援型のグループホームを建設してほしいと期待をしています。この制度は、平成30年から始まり、重度の障害者に対し常時支援体制を確保して、その人らしい生活のありようを支援していくものです。従来のグループホームと異なり手厚い世話人の配置が基準にあり、訪問看護や訪問リハビリも受けることが可能になります。

準備するのは、いまでしょ!!

津久井やまゆり園判決から

事件から目をそらさないで：のまる泉一成

令和2年3月16日津久井やまゆり園の元職員である被告に死刑判決が出ました。

私は、その前日、朝日新聞に「れいわ新選組国会議員木村英子参議院議員」は、障害のある子の誕生に「おめでとう」といえる社会かどうかを問う。といった記事が目に留まりました。

木村議員は、生後8か月の時に歩行器ごと玄関から落ち大けがをして重度の障害を負いました。18歳までの大半を施設で暮らし、津久井やまゆり園に入所していたかもしれず、恐怖感に襲われることがあるそうです。

施設にいた頃の傷ついた心を思い出したくないため、集中して公判の報道を見ることができないといっています。

ありきたりですが、元職員を非難するだけでなく、障害のある人を温かく、見守る社会になってい

るだろうか、検証が必要だと考えています。被告の「優勢思想が問題だ」と声高に叫ぶだけでなく、障害のある人もない人も共に助け合っていく社会を私は、望んでいます。障害ある弟が一人暮らしできているのも地域の助けがあってこそです。

津久井やまゆり園の被害から目をそらさず、地域や社会が障害のある人を施策の1丁目1番地に考えて、共に生きる共生社会の実現に一歩でも近づいていくようにしていきたいものです。

れいわ新選組の2人の参議院議員の誕生で、社会全体が変わってきたと実感できるように期待し、私たち一人ひとりができることを考え、行動し、事件を風化させぬよう連帯していく必要があると考えています。誰もが一人で生きていけないのではなく、支えあい、助け合いのお互い様の社会にしたいものです。